



## 5-2 マンマ・ハキビナ地区



## 5-2 マンマ・ハキビナ地区

### 1・現状と課題

1 地域別計画の考え方、2 地域の現況で示された現状から求められてる課題を以下に示す。

#### 現状

砂浜の衰退  
海岸崖の侵食  
道路・農地・住宅・墓地への被害

#### 課題

- ▶ 来襲波を低減させる対策が必要である。
- ▶ 高潮・越波の侵入を防止する対策が必要である。
- ▶ 道路・農地・住宅・墓地の保護対策が必要である。

### 2・整備方針

#### ■ 整備方針

本来の姿に戻し、後世に残す整備と居住地域や営農地域の安全を確保した整備を進める。

### 3・海岸防災基本計画

#### ■ 整備計画案

##### △ 海岸保全区域の移管・指定

- ◆ 護岸と防風林帯を用いた海岸崖部の保護
- ◆ 離岸堤の設置による来襲波の低減
- ◆ 護岸と防風林帯を用いた海浜部の保護
- ◆ 面的整備による内水位対策

##### ◎ 優先箇所

- ① 家屋・墓地（ハキビナ地区）へ影響のある区間
- ② 町道（避難道・ハキビナ地区）へ影響のある区間
- ③ 農地（全域）へ影響のある区間

#### ※ 実施に向けての課題

- 円滑な海岸施設整備のためには、海岸保全区域の指定が必要であるが、指定から整備まで時間がかかる。
- ハキビナ海岸については、海岸保全区域の管理を町から県に移管することで事業実施がスムーズになる。
- 海岸施設と背後地の整備（農地整備、防風林）を行う場合に用地確保や地元との合意形成などの諸問題の解決が必要である。
- 内水位問題に関しては、広範囲な面的整備が必要になるため、事業期間・事業費が大きくなる。
- 環境に配慮する構造の施設整備は、事業費が割高になることから、防災面だけでなく環境面から重要であるという理由付けが必要である。

## 5-2 マンマ・ハキビナ地区

## 3・海岸防災基本計画

